

令和元年10月25日

東松島市議会議長 大橋 博之 様

(会派名) 市民クラブ

代表者氏名 佐藤富夫

会派活動実施報告書

東松島市議会政務活動費をもって、下記の会派活動等を実施したので、報告します。

1 会派活動の項目(該当を○で囲む)

調査研究費、 研修費、 広報費、 広聴費、 要望・陳情活動費、 会議費

2 活動名称: 令和元年度市町村議会議員特別セミナー受講

3 実施期日: 令和1年10月17日(木)~令和1年10月18日(金)

研修先: 市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)千葉市

出席者: 佐藤富夫、石森晃寿、齋藤徹

4 活動成果: 2日間にわたって、講義を受講して会派活動に資する成果を得た。詳細については、別紙、報告書を参照

5 添付書類: 別紙のとおり



別紙

報告書

10月17日(木)

○研修内容

(1)演題:イギリスの地方議員について

講師:イギリス・コーンウォール州議会議長 ヒラリーフランク 氏

ヒラリーフランク氏(イギリス)は、長野オリンピックの際、IOCとJOCの橋渡し役をする役目を果たし、日本人の夫と結婚した、ヒラリーフランクは、父親の介護のためにイギリスに帰りました。帰ったのは、ロンドンから380km離れたコーンウォール県(人口553,700人)ソルタッシュ町(人口16,184人)。夫との間に2人の女の子に恵まれ、地域の子育て活動をしていたら、まわりから議員になってと頼まれて町会議員になりました。その後、町長、県議会議員となり、現在も子育て、主婦する傍ら、政治家を続けています。

イギリスの選挙運動は、個別訪問。報酬は、県議会議員で年200万円と低い。県議会は、通常議会が年6回、年次総会は、年1回、臨時議会は、必要に応じて行われる。

○所見

イギリスの選挙制度は、日本と異なるが、議会改革を色々している。議会、議員改革の参考になる点もあったので、今後の議会・議員改革に活かしたい。

○研修内容

(2)演題:「流しの公務員」赤字病院を立て直す

講師:愛知県常滑市副市長 山田朝夫 氏

山田朝夫氏は、東京大学法学部法学部を卒業後、自治省(現在は、総務省)に入省。平成9年大分県久住町にキャリア官僚として初めて一般職を経験。平成29年、愛知県常滑市副市長に就任。破綻寸前の常滑市立病院を、片岡常滑市長の熱意により、常滑市立病院の再生に努力し、老朽化していた常滑市立病院を解体し、新たに常滑市立病院を新築し、黒字化に転換させた手腕は、見事である。

このケースは、稀で、民間委託による経営が主流。

○所見

当市でも、看護師、介護士不足で、病院、介護施設などの経営状態が悪化している。他人事では、ないので、一般質問などの提案案件として活かしたい。

研修内容

(3)演題:自治体の防災対策と災害時の市町村議会、議員の対応～近年の災害を踏まえて

講師:跡見学園女子大学観光コミュニティ学部

コミュニティデザイン学科教授 鍵屋 一 氏

鍵屋 一氏は、法政大学大学院政治学専攻修士課程修了後、東京都板橋区役所

に勤務。主に防災、福祉部門を担当した。

大災害は、忘れない頃にやってくる。人間は、自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価してしまう特性がある。

なぜ、人は備えないのか？。なぜ、行政・企業の災害対策の優先順位は、低いのが持論である。

・災害時の議会、議員の役割

情報収集と災害対策本部への提供⇒窓口を議長に一元化する。

要望活動は、自治体職員が時間をかけて手続きを踏むよりも、議会・議員がその政治力を活かして国や関係機関に働きかける。

○所見

昔は「、災害は、忘れたころにやってくる。」最近「災害は、忘れない頃にやってくる」私も同感である。災害時の議会、議員の行動に市民も注視している。今後の災害時の議会、議員の取るべき行動の一助にしたい。

○研修内容

(4)演題:高齢になっても安心して暮らせる地域のしくみづくり

講師:東京大学高齢社会総合研究機構特任教授 辻 哲夫 氏

辻 哲夫 氏は、東京大学法学部卒業後、厚生省入省、平成18年厚生労働省事務次官となる。退官後現職となる。

日本の人口は、2060年には、8674万人となり高齢化率は、40%となり、人生100年時代、超高齢化人口減少社会が到来する。在宅医療、介護が主流となる。人生の最後は、自宅で終える。地域を高齢者が支える。

○所見

超高齢化人口減少社会も、当市にもやってくる。人生の最後は、自宅で終えるのは、最高の形である。現実には、病院で人生の最後を終えるのが主流。いかに、人生の最後を、自宅で終えられるか、議会、議員活動のテーマの一つとして捉え、議会、議員の取るべき行動の一助としたい。